

## スポット情報紙

### 「新しい害虫防除法について」

ブロッコリー、キャベツ、ハクサイ等の定植時に、通常は粒剤を施用して初期の害虫を防除しますが、農業センターでの試験栽培の結果、セルトレイ（苗箱）の上から薬液を灌注処理する方法が、省力的で防除効果が高いことが確認できましたので紹介します。

#### 1 効果

- ・定植から約1ヶ月間、効果が持続します。
- ・土壤水分等に影響されることが少なく、効果が安定しています。

#### 2 使用方法

- ・使用基準に従って、定植日または定植前日に使用。
- ・使用基準に従って希釈し、じょうろ等で1トレイ（1箱）当たり500mlを目安に灌注処理。  
（\*トレイの端まで、しっかり薬液がかかるように処理を実施することがポイント）
- ・定植時に、殺虫剤の粒剤施用は必要ありません。



#### 3 使用薬剤例（成分名）

- ・プレバソフロアブル5（クロラントラニリプロール）
- ・ジュリボフロアブル（クロラントラニリプロール・チアメトキサム）
- ・ガードナーフロアブル（イミダクロプリド・スピノサド）
- ・キックオフ顆粒水和剤（クロラントラニリプロール・ジノテフラン）

\* 使用にあたっては、各農薬の最新の登録状況を確認し、使用基準に従ってください。

\* 問い合わせ先 郡山市農業センター 電話957-2880